

企業理念

地域の
ために
お客さまと
ともに
人を大切に

私たちは、「公共的使命」を尊重し、豊かな地域社会の創造に貢献する、健全かつ強い銀行を創ります。

私たちは、「お客さま大事」を尊重し、誠意と英知を育み、真摯かつ魅力あふれる銀行を創ります。

私たちは、「自主性」を尊重し、自信と誇りに満ちた、進取かつ明朗な銀行を創ります。

プロフィール (平成28年3月31日現在)

- 創立／昭和18年10月1日 青森銀行
- 創業／明治12年1月20日 第五十九国立銀行
- 本店所在地／青森市橋本一丁目9番30号
- 資本金／195億円
- 営業店舗数／本店・出張所102カ店
- 従業員数／1,353名
- 総預金／2兆4,192億円
- 貸出金／1兆6,595億円

Contents

ごあいさつ	1
第15次中期経営計画	2
トピックス	3~6
業績ハイライト	7~8
県内シェア・貸出資産の状況	9
ATMネットワーク・お問い合わせ一覧	10
単体財務諸表	11
連結財務諸表	12
株主優待制度	13
株式情報	14

ごあいさつ



頭取 成田 晋

平成28年6月

皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。

「平成28年3月期ミニディスクロージャー誌 あおぎんNOW」をお届けいたします。この冊子をご覧いただき、当行へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

平成27年度の青森県経済は、基調として持ち直しの動きが続きました。個人消費は、自動車販売が前年を下回る水準で推移したものの、灯油価格の低下と暖冬の影響が家計にとって恩恵となり、年末商戦が堅調に推移するなど、底堅い動きとなりました。一方生産面では、公共工事や国内自動車向け需要の減少から素材関連が生産を引き下げているほか、好調に推移してきたモバイル関連向け部品やOA機器向け製品は海外需要の減退から弱含みの展開となっています。

こうした中平成28年3月、北海道新幹線が開業を迎え、青森県および北海道道南地方の双方における商圏の拡大、国内外の観光需要の取り込みによる経済波及効果が期待されています。

そして平成28年4月には、第15次中期経営計画「**あおぎん Leadingプラン**」がスタートしました。本計画では、当行の目指す姿として「県内No.1の信認と圧倒的な存在感を有し、地域活性化をリードする銀行」を掲げ、企業価値および競争力の向上に向け、営業店と本部が一体となり、「現場営業力の強化」をこの3年間着実に推し進めてまいります。

今後とも変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第15次中期経営計画 **あおぎんLeadingプラン**

資金供給をリード

地域金融サービスをリード

地域活性化をリード

【計画期間】

平成28年4月～平成31年3月(3年間)

目指す姿 県内No.1の信認と圧倒的な存在感を有し、地域活性化をリードする銀行

方針

【現場営業力の強化】

スピード



情報力



先見性

- スピードある対応、情報を活用した営業、地域・お客さまの将来を見据えた対応(先見性)により、競争環境に打ち勝ち、目指す姿を実現します。
- 企業価値および競争力の向上に向け、営業店と本部が一体となり「現場営業力の強化」を推し進めます。

基本戦略・重点施策

【基本戦略Ⅰ】

営業体制の再構築による
競争力の向上

【重点施策】

1. 地域営業力の強化
2. 法人営業力の強化
3. 個人営業力の強化

【基本戦略Ⅱ】

地方創生への積極的な
取り組み

【重点施策】

1. 地域産業育成支援の強化
2. 事業性評価への取り組み

【基本戦略Ⅲ】

人材の育成と戦略的配置

【重点施策】

1. 人材の育成強化と活躍推進
2. マーケットに応じた戦略的人材配置

【基本戦略Ⅳ】

ICTの積極的な活用

【重点施策】

1. 営業店・本部一体営業による営業力強化
2. ICT活用による営業支援

【基本戦略Ⅴ】

経営基盤の強化

【重点施策】

1. ガバナンス態勢の強化
2. 有価証券運用の強化
3. リスク管理等の強化
4. 本部・営業店業務の見直し
5. 関連会社連携の強化
6. マイナス金利政策への対応

地方創生への積極的な取り組み

平成28年4月、地方創生に向けた取り組みを深化・加速化させるべく、「あおぎん地方創生宣言」を策定・公表しました。

県内の各自治体では、昨年度まで策定した「地方版総合戦略」の移行フェーズに移行し、地方創生に向けた動きはこれからが本番となります。

当行では、今年度よりスタートする第15次中期経営計画においても、「地方創生への積極的な取り組み」を基本戦略に掲げており、創業支援の強化等「しごとづくり」への取り組みに加え、「ひとづくり」「まちづくり」にも積極的に貢献していく方針です。

地域に根差した金融機関として、地方創生に向け、役職員一丸となって、全力で取り組んでまいります。

『あおぎん地方創生宣言 ～創生 全力投球!!～』

青森銀行は、「地域のために お客さまとともに 人を大切に」の企業理念のもと、当行が保有する経営資源を最大限に活用し、「地方創生」に全力で取り組んでまいります。

地域に根ざした金融機関として、「創生 全力投球!!」を旗印に、職員一人一人が地方創生の担い手としての意識を持って、日々の活動を展開いたします。

これまで以上に地域の皆さまとの結びつきを深め、地域のポテンシャルを活かした「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」に貢献してまいります。



青函活性化への取り組み ～北海道新幹線開業～

平成28年3月、北海道新幹線が開業しました。今後、青函地域の交流が一段と進み、観光客の増加や地域産品の域外への販売増加などの経済効果が期待されます。

当行は、函館においても古くから営業展開しており、平成27年、函館支店は設立100周年を迎えました。同年、函館支店内に「函館推進チーム」を設置し、道南地域における事業者の支援体制を強化しております。

また北海道内金融機関との連携強化にも取り組んでおり、平成24年12月には北洋銀行、平成25年3月には北海道銀行と地域経済活性化に関する連携協定を締結しました。両行とはATMの相互無料開放に加え、各種連携事業を展開しております。

北洋銀行との連携事業では、平成26年5月、官民ファンドである「青函活性化ファンド」を組成しました。このファンドを活用して平成28年3月、北海道新幹線新函館北斗駅構内への弁当カフェ出店資金として、八戸市の老舗駅弁製造販売業者(株)吉田屋に対して投資を行いました。

今後も青函地域の事業者の育成支援や交流促進等への取り組みを通じて、さらなる青函地域の活性化に積極的に取り組んでまいります。



女性活躍推進室を設置

女性の活躍を推進するため、行内外に対し「あおぎん『ウーマン・アクティブ』宣言!!」を行うとともに、女性活躍推進施策を取りまとめた「あおぎん『ウーマン・アクティブ』プログラム」を策定し、平成28年4月からスタートしました。実施期間は3年間で、平成30年度までに女性の管理・監督職者を30%増加(平成28年3月末比)させることを目標としています。また、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスにかかる各種施策を強力に推進するため、人事部内に専門部署「女性活躍推進室」を設置しました。

平成28年4月1日から全面施行された女性活躍推進法では、取り組みの実施状況が優良な企業を厚生労働大臣が認定する「えるぼし認定制度」が創設され、当行は東北第1号の認定を受けました。



「えるぼし認定通知書」交付式



女性活躍ワーキング・グループ

高齢者・障がい者への接遇向上に向けた取り組み

高齢者・障がい者の方が安心してご来店いただける環境整備の一環として、平成28年度新入行員研修において、「認知症サポーター養成講座」を実施し、認知症に対する知識や基本的な対応方法を習得しました。また、窓口で基本的な手話での対応を可能とするため、「手話基礎講座」を順次開催しております。



「〈あおぎん〉『食の名匠』養成塾」

青森県食産業の振興に向けて、「儲かる商い」の実現に取り組む事業者の養成を目的とした「〈あおぎん〉『食の名匠』養成塾」を、国立大学法人弘前大学食料科学研究所との共催により開塾しました。

入塾した43名の皆さまは、産学官金が一体となって用意した13カリキュラムを修了し、今後の新事業展開に向けたビジネスプランを策定しました。

塾生の皆さまによるビジネスプランに基づいた新事業展開への支援等、今後も青森県食産業の振興に向けて取り組んでまいります。



外国人観光客受入れに向けた取り組み

平成28年3月、県内の観光関連事業者に向けて「〈あおぎん〉外国人観光客受入れ対策セミナー」を開催しました。北海道新幹線開業や予定されている青森-杭州-天津の定期便就航等、多くの外国人観光客の来青が期待される中、セミナーには約70名が参加、外国人観光客への対応方法や免税店制度の概要、外国人向けの代金決済ツール等を紹介しました。

また、セミナー同日には、学校法人青森田中学園との地域活性化連携協力協定事業の一環として、青森中央学院大学から講師を招き、当行職員を対象とした中国語会話講座を実施しました。



あおぎん賞

「あおぎん賞」は県内の産業や文化の振興等に貢献している個人や団体を表彰しています。

23回目の平成27年度は、以下の4団体が受賞しました。木材加工において高い技術力を有し、県産杉やりんごの間伐材等の木材を波型に連続曲げ加工した新素材「e-Wood+（イーウッドプラス）」を開発した(株)今井産業。金属切削加工において高い技術力を有し、困難とされる航空機産業への参入に成功した(株)橘機工。プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」の運営を通じた地域振興に取り組んでいる青森スポーツクリエイション(株)。「十和田バラ焼き」を全国に向けて発信し、B-1グランプリ全国大会の十和田市開催誘致に貢献した十和田バラ焼きゼミナール。

なお、これまでの受賞者は60団体、8個人の68先となっております。



人型ロボット「Pepper」を採用

平成27年12月より、ソフトバンクロボティクス社が開発した人型ロボット「Pepper」を県内金融機関として初めて3台採用し、3カ店に配属いたしました。

現在「Pepper」は、県内の各支店を回りながら、来店されたお客さまへのご挨拶や各種キャンペーンのご案内、お客さまアンケート等を行うほか、小さなお子さまが楽しめるゲームやダンスを披露するなど、様々な場面で活躍しております。

今後、さらに研修を重ね、新たな業務にもチャレンジしてまいりますので、日々進化する「Pepper」の今後の活躍にご期待ください。



© Softbank Robotics Corp.
ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し弊行が独自に実施しているものです。

〈あおぎん〉Tポイントサービス開始

お客さまのライフスタイルを踏まえた新たなサービスとして、平成28年3月1日より、〈あおぎん〉Tポイントサービスを東北・北海道の地方銀行として初めて開始いたしました。

ファミリーマートやENEOS、TSUTAYAなどで使えるTポイントが、青森銀行とのお取引で貯まります。

ジュニアNISAの取り扱い開始

平成28年1月より、新たに「ジュニアNISA」(未成年者少額投資非課税制度)を活用した投資信託の取り扱いを開始いたしました。ジュニアNISAは、子ども達の将来に向けて資産を築くための新しい制度です。子どもや孫のために資金を贈与し、ジュニアNISAで投資信託の運用を行うと、値上がり益や普通分配金に対する税金が非課税となります。

非課税での投資上限額は子ども一人あたり年間80万円、最大5年間で400万円、また、子どもが18歳になると投資した資金の払出が可能となります。平成28年9月30日まで、「ジュニアNISA口座」を開設いただいたお客さま(先着700名)に対して、500円分のクオカードをプレゼントするキャンペーンを実施しております。

